

精神障害者職業自立等啓発事業【厚生労働省委託事業】

平成 19 年度九州ブロック精神障害者就業セミナー IN 長崎

テーマ：精神障害者の理解と就労促進をめざして

障害者自立支援法の施行や精神障害者の雇用率への算定など、精神障害者の雇用・就労に関わる状況が変わりつつあります。

しかし、精神障害者の雇用・就労については、企業サイドでは不安感があり、医療・福祉関係者にとっては、精神障害者の就労は再発のリスクが高まるとの警戒感があり、就労支援に消極的な要因になっています。

こうした企業の不安感を払拭し、関係者の消極的態度を改めるためには、精神障害者の雇用・就労の好事例や支援者の取り組みの好事例等々を紹介することによって、精神障害者の就労に関する包括的理解を進めることが効果的であると思われます。

以上のような視点から、今回、長崎で開催する就労セミナーにおいては、関係機関・団体の精神障害者の就労支援の取り組みを紹介や各種就労支援制度の紹介やその活用の仕方などの情報提供を行うことで、精神障害者の雇用就労の促進に寄与すると共に、今後の地域における精神障害者就労支援ネットワークの構築につながることを目的に本事業を開催いたします。

日 時 平成 20 年 2 月 15 日(金)・16 日(土)

会 場 長崎ウエスレヤン大学 西山ホール・他

(長崎県諫早市栄田町 1057 TEL:0957-26-1234)

定 員 250 名 (申し込み先着順)

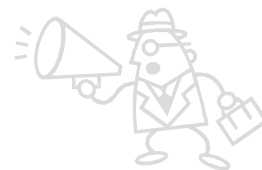
参加費 無料(但し、資料代 1,000 円/学生 500 円)

主 催 特定非営利活動法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会
九州ブロック精神障害者就業セミナー IN 長崎 実行委員会

協 力 長崎ウエスレヤン大学

後 援(予定)

長崎県・諫早市・長崎労働局・長崎障害者職業センター・長崎県雇用支援協会
長崎県精神障害者家族連合会・長崎県精神障害者団体連合会
長崎県精神科病院協会・長崎県精神障害者社会復帰施設協会
長崎県難病連絡協議会・長崎県精神障害者地域活動支援連絡協議会
きょうされん長崎支部・長崎県精神保健福祉士協会・ワーカーコープ長崎支部
長崎ウエスレヤン大学・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社
読売新聞社・NHK 長崎放送局・NBC 長崎放送・KTN テレビ長崎・NIB 長崎国際テレビ
NCC 長崎文化放送



【プログラム】

1日目 2月15日(金曜) 西山ホール

12:00~ 受付

12:30 主催者挨拶

特定非営利活動法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会 館 暁夫

セミナー趣旨説明

長崎実行委員長 村上 清

12:40 来賓挨拶

長崎県知事

金子 原二郎

諫早市長

吉次 邦夫

12:50 行政報告 「精神障害者の雇用拡大をめざして」

厚生労働省 障害者雇用対策課 主任障害者雇用専門官 白兼 俊貴

厚生労働省は、来年度 障害者雇用促進法改正を予定しています。また、新たな精神障害者の雇用促進施策も検討されています。

13:50 記念講演「精神障害者の雇用推進について」

紀南障害者就業・生活支援センター所長 北山 守典

北山さんは、長年にわたる精神障害者就労支援に向けた活動を経て、和歌山県田辺市を周辺とした地元企業との強い結びつきやグループ雇用、就労している当事者達のセルフヘルプグループ「ワーカーズクラブ」を発足させるなど、地域の特性を生かした就労支援システムと就労支援ネットワーク確立の指導的立場の方です。

14:40 質疑応答(行政報告・記念講演に対して)

15:00 休憩

15:10 長崎県の精神障害者雇用・就労の現状報告

・長崎県の障害者雇用の現状

報告：桑野 栄一（長崎労働局 障害者雇用担当官）

・長崎県の精神障害者社会適応訓練事業の現状

報告：川原 康則（長崎県障害福祉課 精神保健福祉班）

15:30 休憩

15:45 シンポジウム

テーマ：「離島での精神障害者の就労生活支援 ～五島市を中心に～」

コーディネーター

村上 清(長崎ウエスレヤン大学社会福祉学科)

アドバイザー

鈴木 勇次(日本島嶼学会副会長)

シンポジスト

益田 和美(五島職業安定所)

井関 哲央(働いている当事者)

松園 三雄(雇用事業所：有限会社 下崎山環境公社)

長谷川英樹(社会福祉法人さゆり会・五島市)

矢野 亮一(五島保健所)

コメンテーター

館 暁夫(西南学院大学社会福祉学科教授)

コメンテーター

北山 守典(紀南障害者就業・生活支援センター所長)

指定発言 「就労への期待」

家族会の立場から 濱崎 英夫(長崎県精神障害者家族連合会 会長)

当事者会の立場から 山口 弘美(長崎県精神障害者団体連合会 会長)

17:30 1日目 閉会

2日目 2月16日(土曜) 西山ホール・A-301教室 A-401教室

9:00 分科会 3会場

記録:学生担当

分科会	話題提供	助言者	進行・司会
1) 就労への 取り組み (西山ホール)	Work わーく セミナー 取り組み 篠原由美子(長崎こども・女性・障害者支援センター) 利用者の就労への挑戦 田中勝代(地域活動所すてっぷあっぷ) 就労支援と作業・バイオディーゼル製造 薄田良二(精神障害者通所授産施設ウエルカム瑞穂)	太田勝代 (長崎ウエスレヤン大) 濱元覚 (長崎県精神障害者 社会復帰施設協会)	吉田勝博 (地域活動支援 センター)
2) 職場定着のた めの支援 (A-301 教室)	ジョブコーチの役割と活動 大関敏之(長崎障害者職業センター) 就業と生活の一体的支援の在り方 酒井龍彦(長崎障害者就業・生活支援センター) 医療機関における相談援助 稗田幸則(長崎県精神保健福祉士協会)	金文華 (長崎ウエスレヤン大) 北山守典 (紀南障害者就業生 活支援センター)	高島恭子 (長崎国際大学)
3) 多様な就労形 態の実践 (A-401 教室)	ピアヘルパーの取り組み ・養成先 木下博志(ワーカーズユープ 鹿児島) ・ヘルパー 加島健(有限会社 はるかぜ) 平野義勝(有限会社 はるかぜ) ・コーディネーター 舞島好孝(自立生活センターよかよか長崎) ・ヘルパー利用者 立石好子(自立生活センターよかよか長崎) 在宅就労支援の取り組み ・SOHO事業の現状と課題 山口雅士(レインボーブリッジ) ・在宅就労ネットワークづくり 北川修(長崎県難病連絡協議会)	村上清 (長崎ウエスレヤン大) 山口弘幸 (長崎ウエスレヤン大)	小林啓示 (ワーカーズ ユープ長崎)

11:00 分科会終了 移動

11:15 分科会報告

11:45 特別講演「働くことを再度考えよう」

講師:浜 民夫(若者自立支援長崎ネットワーク代表)

13:00 閉会挨拶 山口弘美(長崎セミナー副実行委員長)

*1日目:15日(金曜)情報交換会として、ナイトセッション(懇親会)を予定しています。

会費:5000円 時間:18:30~ 場所:ホテルセンリュウ

(これはセミナーとは別で、独自企画です。)

【セミナー問合先】九州ブロック精神障害者就業セミナーIN長崎実行委員会

〒854-0081 長崎県諫早市栄田町1057 長崎ウエスレヤン大学内 山口弘幸研究室内

メール:h-yamaguchi@wesleyan.ac.jp

TEL&FAX 0957-26-8491(山口) 0957-26-8369(金) 0957-26-8371(村上)

会場地図



交通機関

福岡から	JR 特急で約 90 分	JR 博多駅 JR 諫早駅 大学
JR 諫早駅より	バスで約 10 分	「破籠井」行き乗車「西栄田」下車 料金/140 円
	タクシーで約 5 分	料金/約 720 円
長崎空港より	バスで約 40 分	「諫早駅前」行き乗車「諫早駅前ターミナル」下車 料金/610 円
	タクシーで約 30 分	料金/約 4,000 円